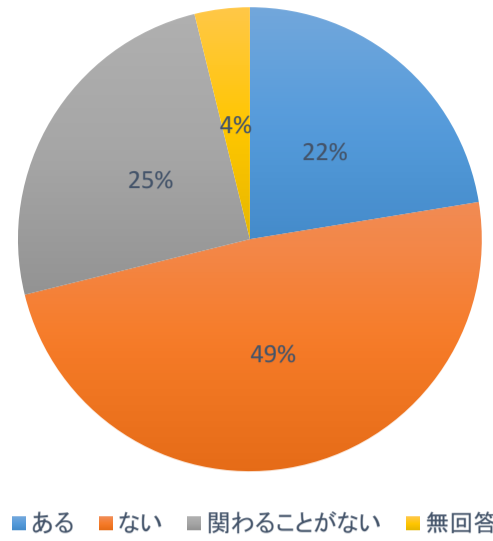


Q8 施設との連携で問題は生じていますか

	回答数
ある	35
ない	76
関わることがない	39
無回答	6
合計	156



「ある」の主な回答内容

	所属	それはどのような問題ですか	その問題に対してどのように対応していますか
1	医療機関(医師)	連携が速やかでない	
2	医療機関(医師)	訪問看護の患者の発熱時に起こった。患者を診に行く様お願いしたが、行ってそのまま現場を離れた。	訪問看護からの報告を待ち対応手配をすることにしたが連絡なく保健所へ連絡した。
3	医療機関(医師)	発熱者の対応	なるべく遠隔にし対応だが情報が不十分となりやすい。
4	医療機関(看護師)	①利用者様の具合が悪くてもぎりぎりまで受診に来ず症状が進んだ状態で受診するケースが多い。 ②面会禁止もしくは制限していることにより施設の実調が十分な形でできていないことから受け入れが難しくなる。退院がスムーズに運ばない。	距離をおいて離れた場所から声をかけていただき実調を行っている。または電話で状況を知ってもらえるよう対応している。
5	医療機関(職種不明)	情報の共有に不足がある。他院通院中で他院宛の診療情報提供書を持っており、なおかつ投与されている薬剤は当院に無いものであった。	通院中の医療機関への受診を指示した。
6	医療機関(職種不明)	検査データを添えても受け入れて頂けないこともある。ADL低下を理由に受け入れて頂けない事もある。	・先方の不安や取り除ける様に、データetcを踏まえて相談 ・治療終了しているのであれば受け入れ可能としている病院へ転院調整
7	医療機関(ソーシャルワーカー)	入院を希望する場合、事前に相談がほしい、と案内しても毎回相談なしに来院されるケースがある。	・その都度、事前相談をと案内。 ・研修会で当院の受け入れ対応を紹介。
8	医療機関(ソーシャルワーカー)	関係事業所とのやりとりが電話のため、各々連絡をとることになり、いきちがいが生じやすい。	その都度連絡をとるしかない
9	居宅介護支援事業所	入所の見学ができない	担当者との面談
10	居宅介護支援事業所	毎月定期的に利用していたが、コロナの関係で、出たり入ったりする利用の仕方ができない(入所なら良いが)と言われた。	ご本人は現在入院されたので、様子を見ている状態。
11	居宅介護支援事業所	老健入所にあたり、入所前2週間ショートステイの利用を強いられた。	
12	居宅介護支援事業所	外部の人の面会を禁じている	除菌及び建物内の物にさわらない等に対応してもらっている
13	居宅介護支援事業所	少しの熱で受け入れが難しくなる。	

14	居宅介護支援事業所	文書や電話でのやりとりになるので十分な情報共有ができないまま依頼する形になっています。	入所後に事業所に対応してもらっています。
15	居宅介護支援事業所	①コロナ禍によりサービス利用に制限を設ける事業所がある。 ②通所系サービスや短期入所中のご利用者との面会制限がある	①他施設紹介する→本人希望サービス事業所を利用できない。 ②サービス事業所の相談員に連絡し、様子確認している。
16	居宅介護支援事業所	・施設見学ができない ・受け入れをしていない施設や制限している施設がある(ショートステイ)	・説明やパンフレット等で、情報を得る ・利用できる施設を利用する
17	居宅介護支援事業所	ショートの新規を受け入れない施設がある。困る。	家族に説明し、別の施設を探す。
18	居宅介護支援事業所	退所前面談で本人に会わせてもらえなかった。	本人の状況を施設職員から聞き取りした。
19	居宅介護支援事業所	受け入れの中止、施設見学も出来ない	家族・事務所・病院等連携機関とのこまめな情報交換・共有
20	居宅介護支援事業所	受け入れ、面会などができない	施設の対応に従っている
21	歯科医院	緊急事態宣言やコロナの為に施設に往診に行けず、入所者の口腔管理が行えず悪化が認められる。	何か、口腔内に異変があったらすぐ連絡をもらい診察する
22	歯科医院	訪問診療先施設でコロナ患者ア確認された場合、予定の診療が行えないため患部の状態が悪化することがある。	積極的治療は避け対処療法を主に行うこととしている。一方、原因は取り除けていないので、いつ急発するか不安な状況
23	地域包括支援センター	新規の受け入れをストップしていた時期があった	新規の受け入れを実施している事業所を探し対応した。
24	地域包括支援センター	施設に空きがない、利用料の支払いが困難など入居希望の施設と調整がつかないことがある。	有料老人ホームなどは専門の相談員を通じて条件に合う施設を紹介してもらっている。
25	地域包括支援センター	・コロナ陽性で入院加療した方が、退院後スムーズにショートステイへ移れない。・利用までに事前の検温(一週間等)を求められ、急なショート利用が難しい	病院に本人の状況を確認。ショート先へ伝え、対応を検討していただく・対応可能なショート先をあたり調整。ショートステイ以外のサービス検討。
26	訪問介護事業所	ショートステイ・入所の受け入れ中止	受け入れ先を探す。在宅サービス(訪問・通所)を増やす
27	訪問看護ステーション	デイサービスやショートに行けない	訪看で臨時訪問等行っている。
28	訪問看護ステーション	デイサービスでのコロナ発生、病院に通院している方がいる(そこからのクラスター発生)	保健センターに相談の上訪問を決めているケースもある
29	訪問看護ステーション	利用者の発熱時	訪問を中止する。
30	薬局	ショートステイに入る日時の施設・ケアマネとの連携が無く、持参薬が心配 ショートステイ直前の夜20時にステイ先へ持ち込む薬の整理をしたことあり(19時に利用者本人から「明日からどこかに行く、すべて息子が約束したからよくわからない」の電話で判明)	利用者家族との連絡を取り対応、ケアマネから一報を(決まったら早めに)頂きたい。
31	薬局		多職種連携会議がコロナの影響で開催されなかったりした。特に対応はしていないが、ケアマネとは電話で連絡をこまめにとりました

32	薬局	新型コロナウイルス感染症のスタッフがいる施設への入室禁止	施設内まで入らずインターホンでスタッフを呼び対応しています。
33	薬局	コロナ感染予防の為訪問できない	電話対応
34	薬局	施設が出入りを禁止している。	電話、文書、施設外での対応

回答から確認できること

- ・アンケート回答機関の約20%が施設との連携の場面で問題が生じていると回答している。
- ・新型コロナウイルス対策として各機関が入院中の面会制限、受け入れ制限等を講じていることもあり、施設⇒病院(入院)、病院⇒施設(施設入所)がスムーズに進まないことがある。
- ・新型コロナウイルス対策として、入所、ショートステイ、デイサービス等の受け入れを制限している事業所もあり、ケアマネジャーが調整に苦慮することがある。特にショートステイの調整について困っているケアマネジャーが多い。